



2020年5月26日

各 位

会 社 名 株式会社フーバーブレイン  
代表者名 代表取締役社長 興水 英行  
(コード：3927 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役 石井 雅之  
(TEL. 03-5210-3061)

## <マザーズ> 投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### ○ 開催状況

開催日時 2020年5月26日 14:00～15:00  
開催方法 WEB 会議システムによるオンライン開催  
説明会資料名 第19期（2020年3月期）決算説明会資料

#### 【添付資料】

投資説明会において使用した資料

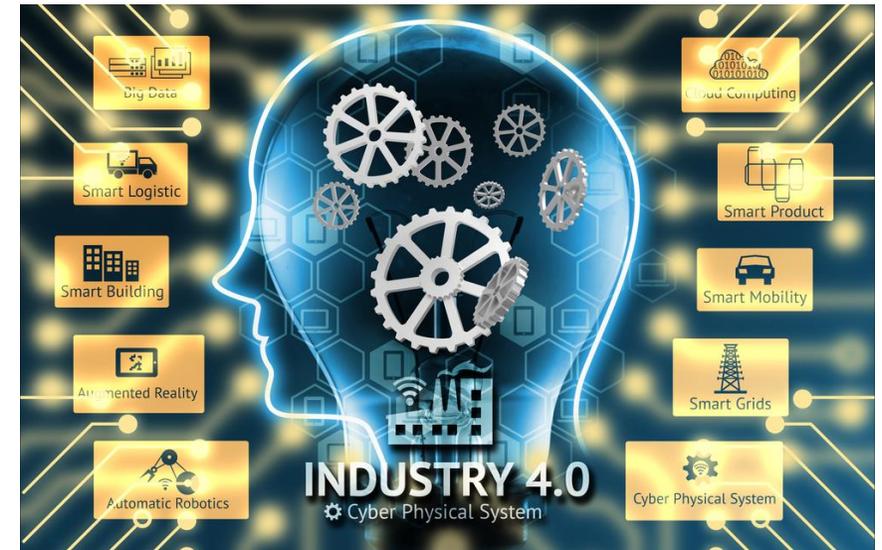
以上

株式会社フーバーブレイン

第19期（2020年3月期）

決算説明会資料

2020年5月26日（火）



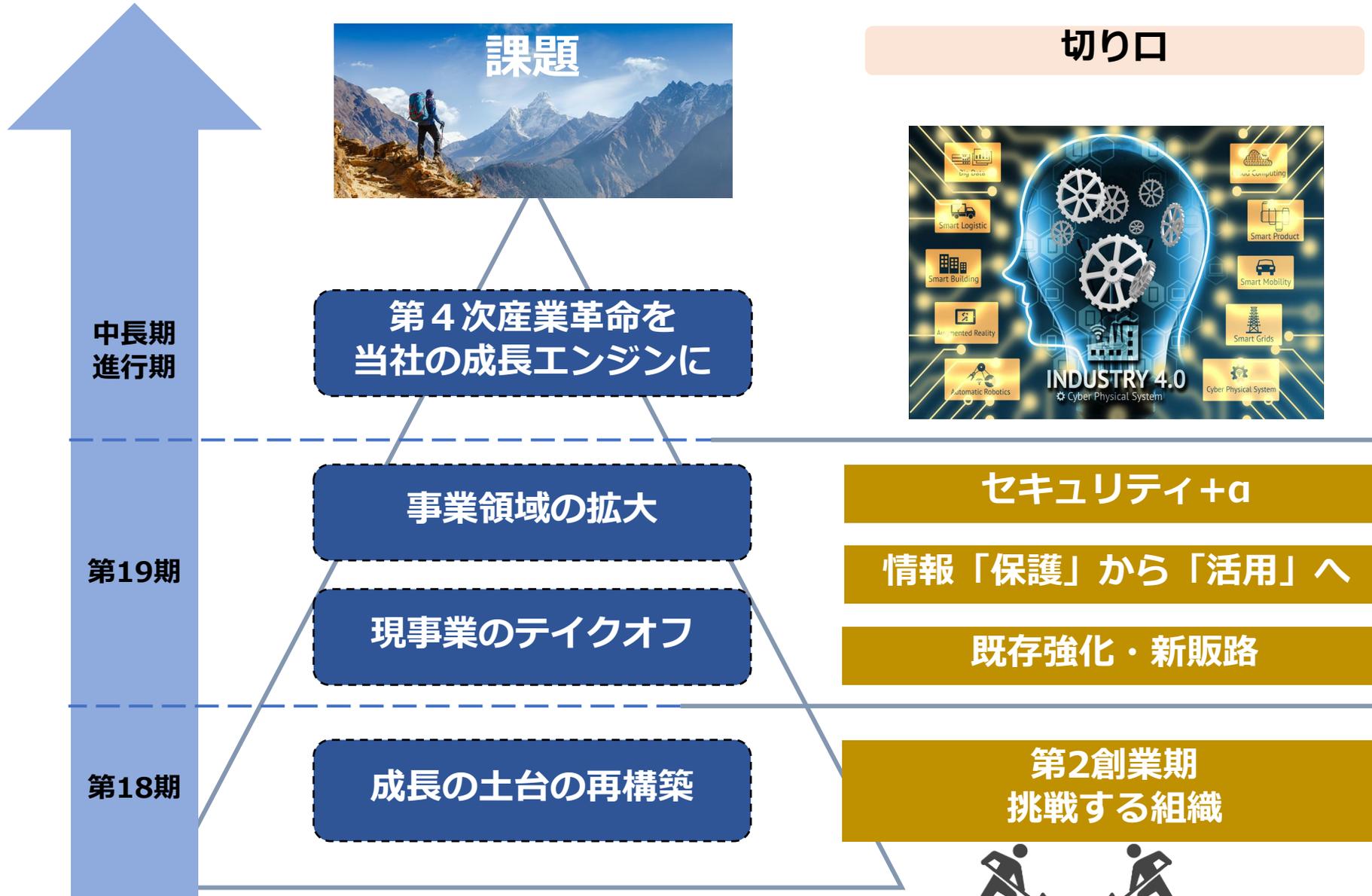
# 本日のアジェンダ

- 1 第19期（2020年3月期）の取組み
- 2 第19期（2020年3月期）決算概要
- 3 新型コロナウイルスの影響
- 4 今後の成長戦略

# 1. 第19期（2020年3月期）の取組み



# 成長への課題と取組みの切り口

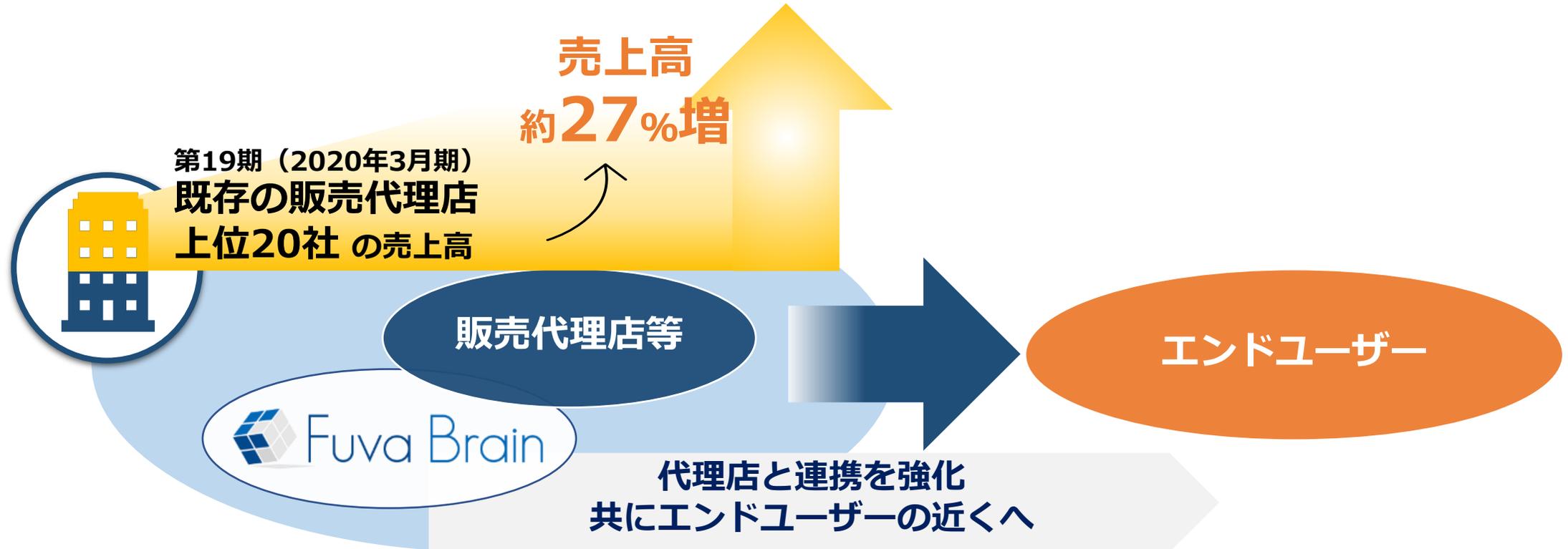


# 第19期（2020年3月期）の取組み 現事業のテイクオフ



## 現事業のテイクオフ [既存強化]

- 販売代理店や通信機器メーカーとの連携を強化
- **営業戦略・営業目標を共有し、**  
エンドユーザーへのアプローチ・アクションにおいて、**量・質を向上**





## 営業4拠点体制



大阪



新潟

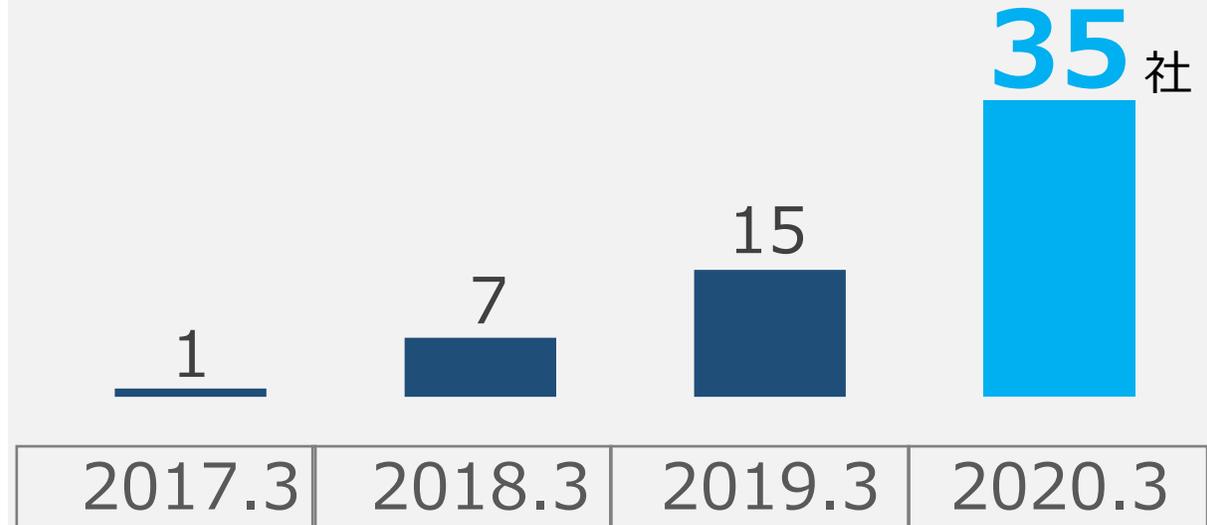


東京

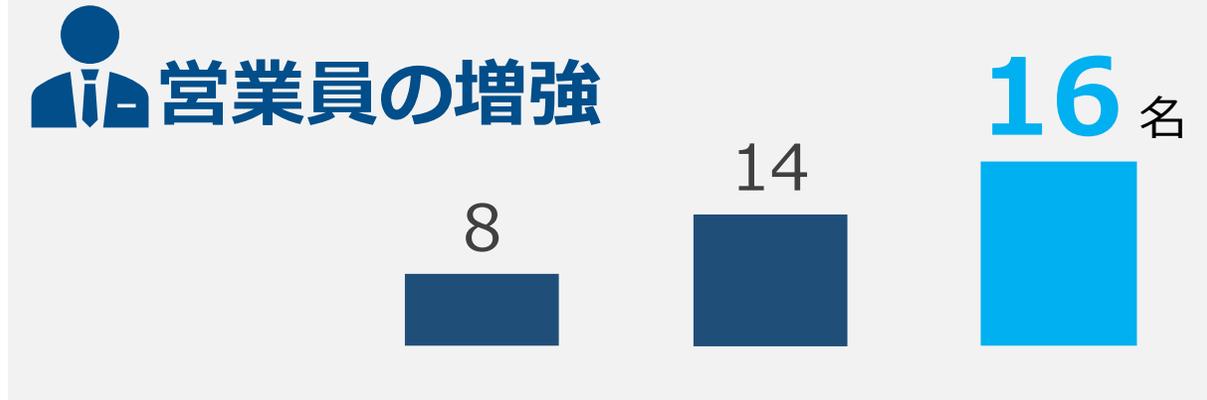
福岡



## 新規販売代理店獲得数



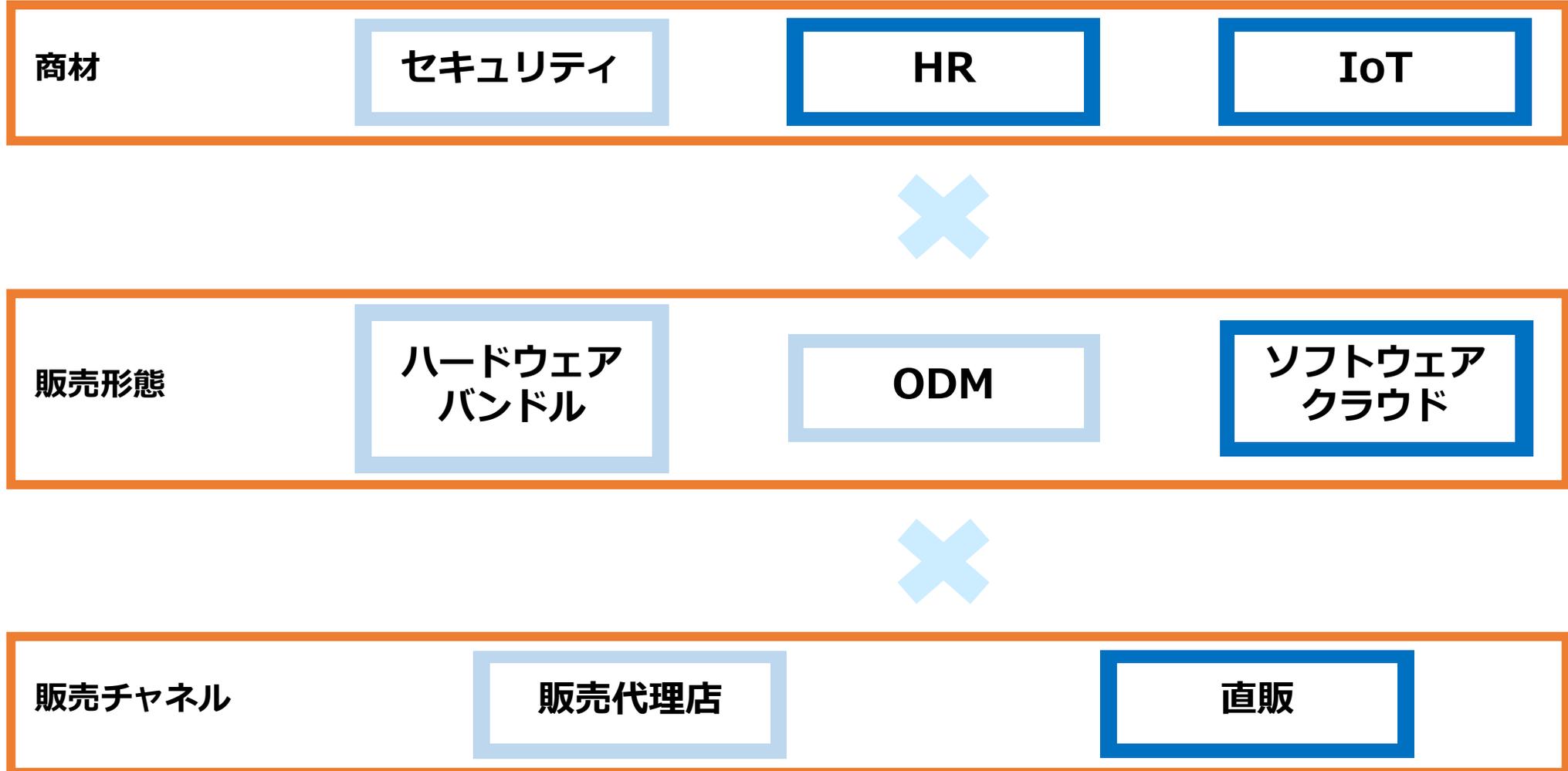
## 営業員の増強



# 第19期（2020年3月期）の取組み 事業領域の拡大

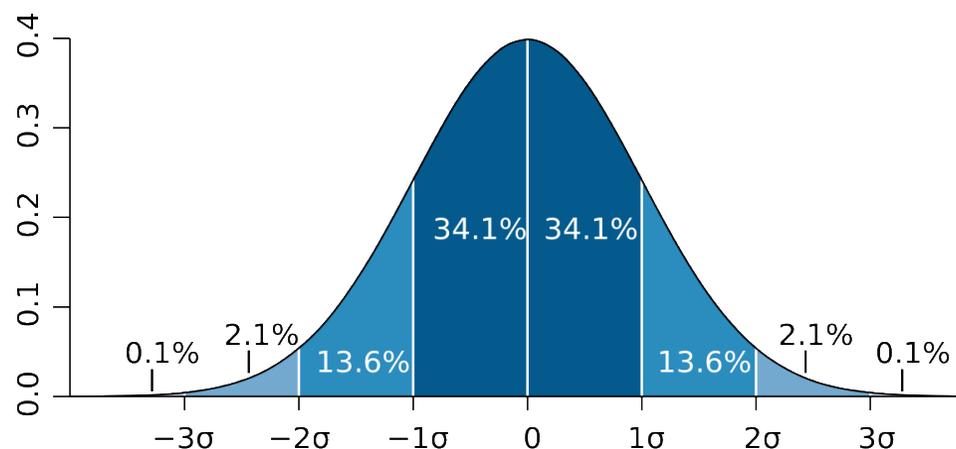


# 事業領域の拡大 [ 自社製品・サービスの拡大 ]



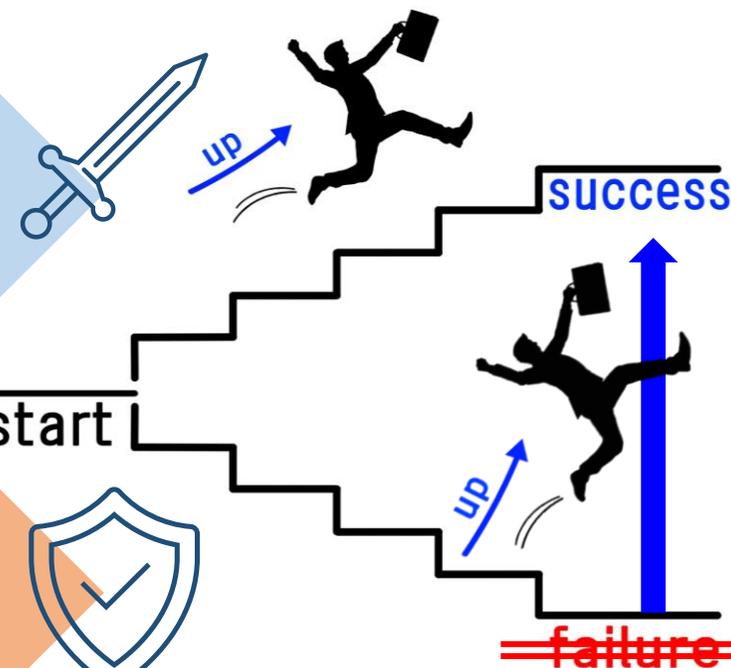
# セキュリティを経営者に直接響くための製品・サービスへ

テールリスク (ブラック・スワンイベント) 対策の詳細に、自ら時間を使う経営者はいない



経営者は、  
お金になる  
可能性が好き

お金を稼ぐ  
ツールへ



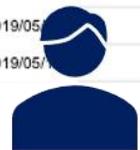
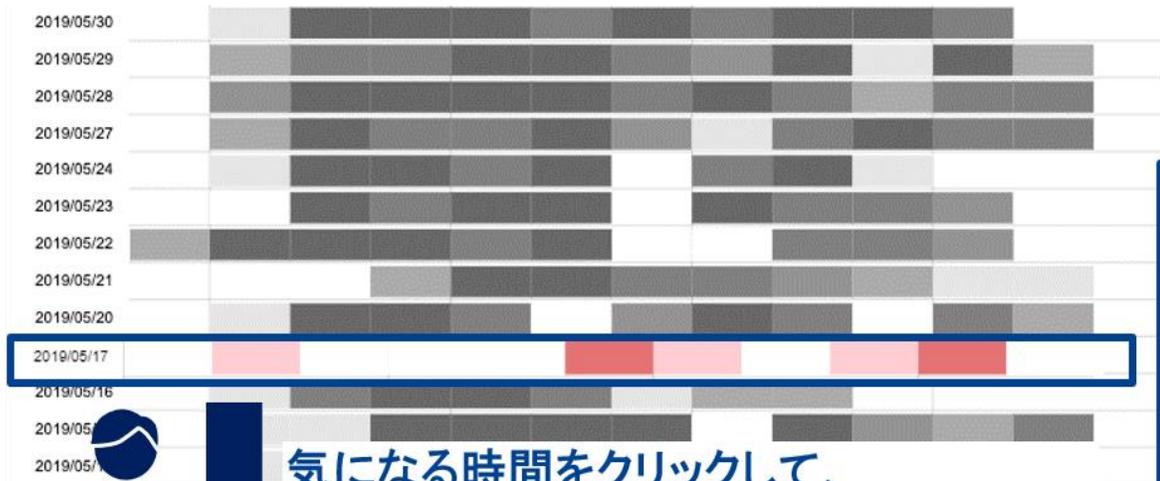
経営者は、  
可能性が低い  
事を考える  
ことが嫌い

分かりやすい  
リスクヘッジ  
サービスへ



## 働き方改革支援製品

(業務可視化・生産性向上・情報漏えい対策)



気になる時間をクリックして、  
対象時間の作業内容詳細を表示します。

2019/09/13 10:01:32	: 受信トレイ	@fuva-brain.co.jp - Fuva Brain Limited メール - Google Chrome
2019/09/13 10:02:33	: Microsoft Excel	- 発注リスト.xlsx
2019/09/13 10:03:33	: Microsoft Excel	- 発注リスト.xlsx
2019/09/13 10:04:33	: no_encrypt	
2019/09/13 10:05:34	: Microsoft Excel	- 在庫明細201908.xlsx
2019/09/13 10:06:34	: Microsoft Excel	
2019/09/13 10:07:34	: Microsoft Excel	
2019/09/13 10:08:35	: Microsoft Excel	
2019/09/13 10:09:35	: Microsoft Excel	
2019/09/13 10:10:35	: Microsoft Excel	
2019/09/13 10:11:36	: キントーン	
2019/09/13 10:12:36	: Microsoft Excel	- Book1

# 事業領域の拡大 [市場・分野]





テレワーク環境を構築



Risk Detection



テレワークを推進する  
製品・サービスに係る業務提携  
デジタルリスクのビッグデータ解析  
企業内リスク、外部からのリスクを早期検知

リスク検知

テレワーク推進

データ保護



Data Protection



両社製品・サービスを協力して販売展開し、  
企業のテレワーク推進を支援  
データの分散管理によるデータ保護  
紛失や盗難時の情報漏えいリスク対策

クラウド

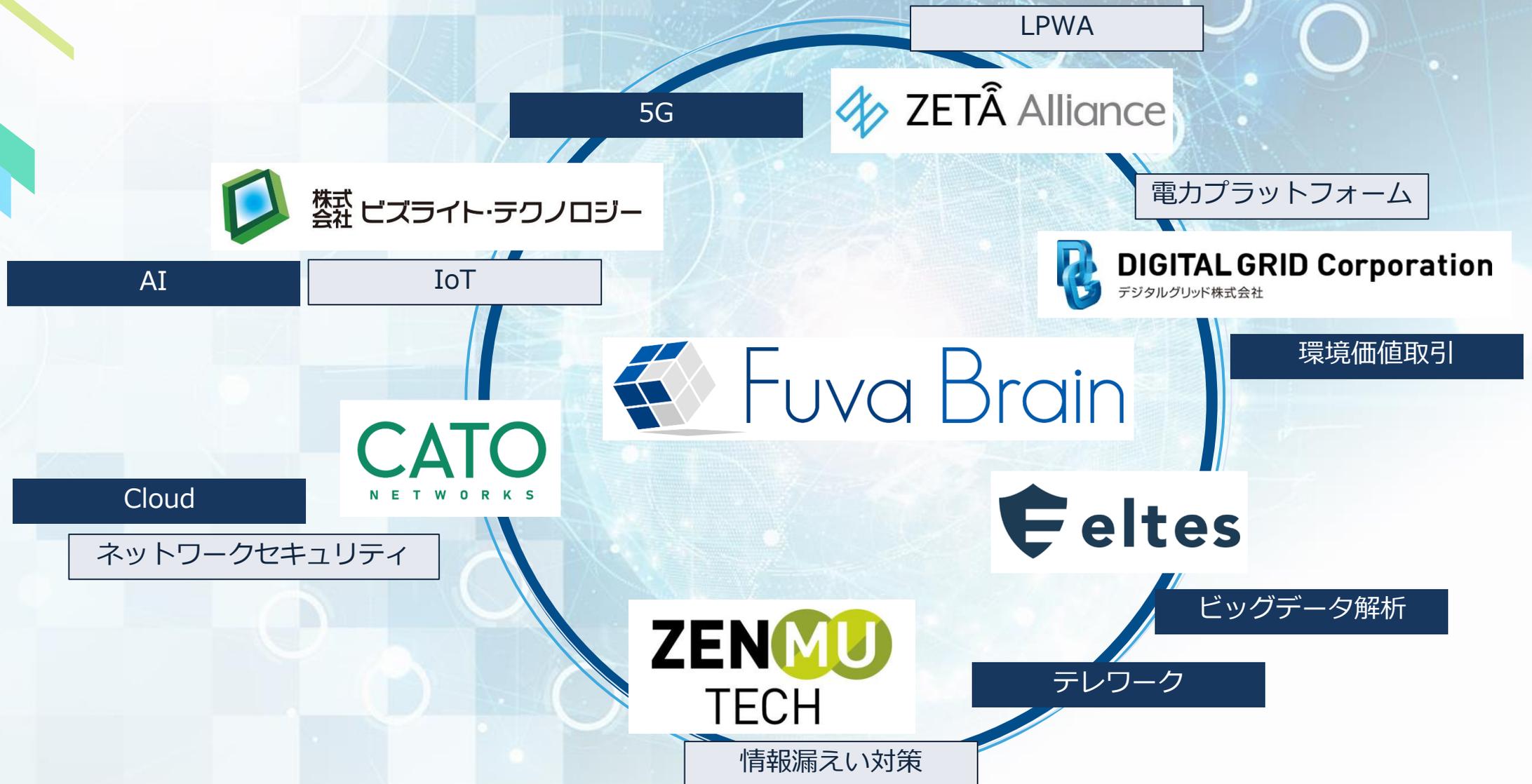
セキュリティ強化



Platform



日本国内2社目のディストリビューターとして、  
「Cato Cloud」の提供を開始  
ネットワークとセキュリティをクラウド統合した世界初のSASE (サシー)  
プラットフォーム「Cato Cloud (ケイトークラウド)」を提供



## 2. 第19期（2020年3月期）決算概要





## 売上高

**1,047百万円（前期比 15.2%増）**

- アンチマルウェア及び業務管理関連製品、  
業務管理サーバー製品の売上高増加
- 2015年3月期（991百万円）以来の過去最高を更新



## 営業損益

**△59百万円（前期 16百万円）**

- 人員増による販売費及び一般管理費増  
従業員数：前期末47名→54名



## 経常損益

**△63百万円（前期 21百万円）**

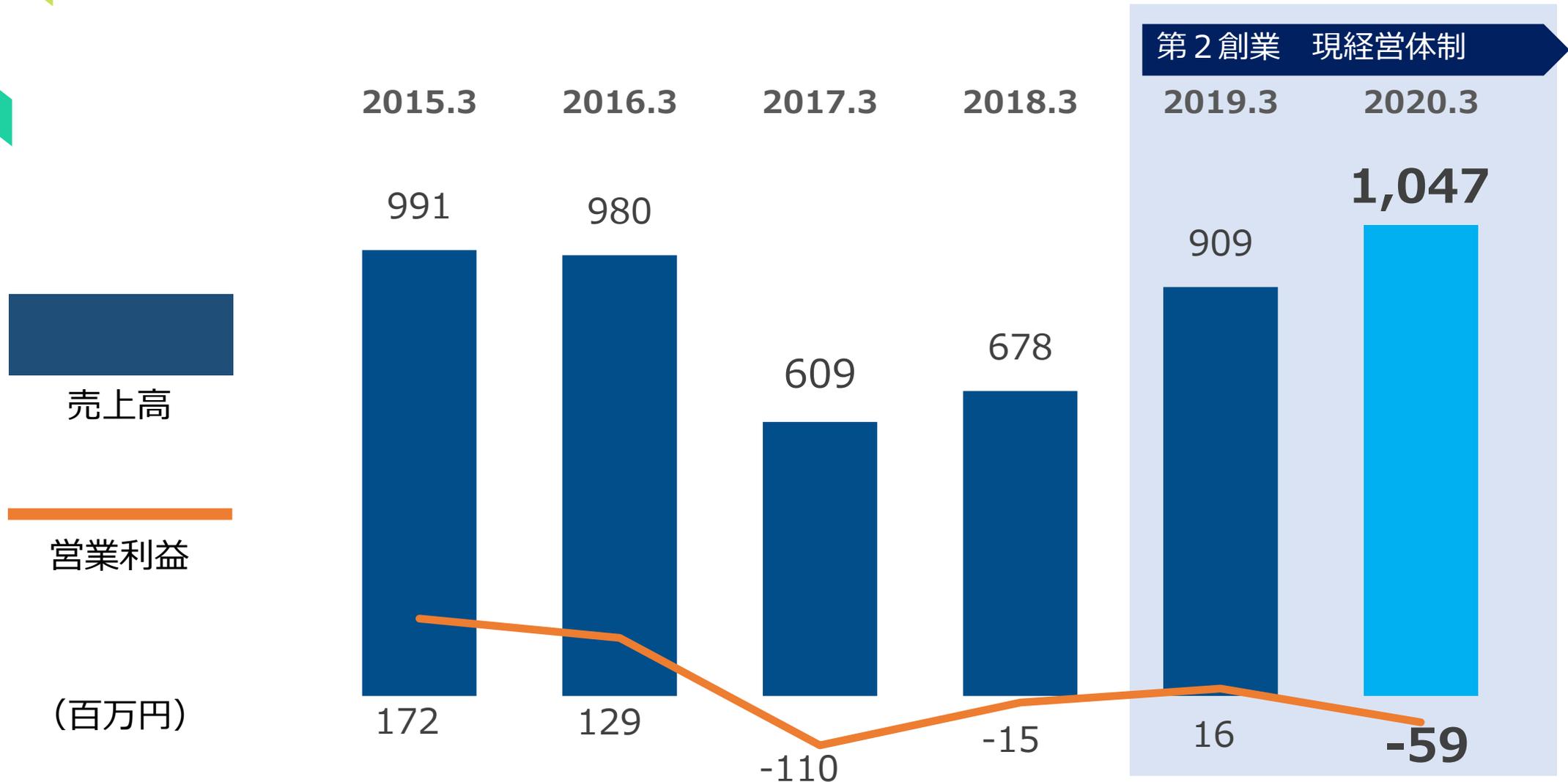


## 当期純損益

**△68百万円（前期 23百万円）**

# 経営成績ハイライト

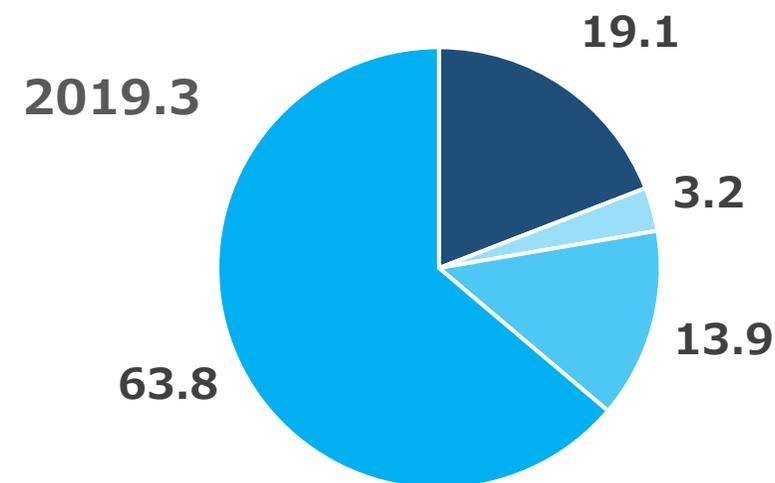
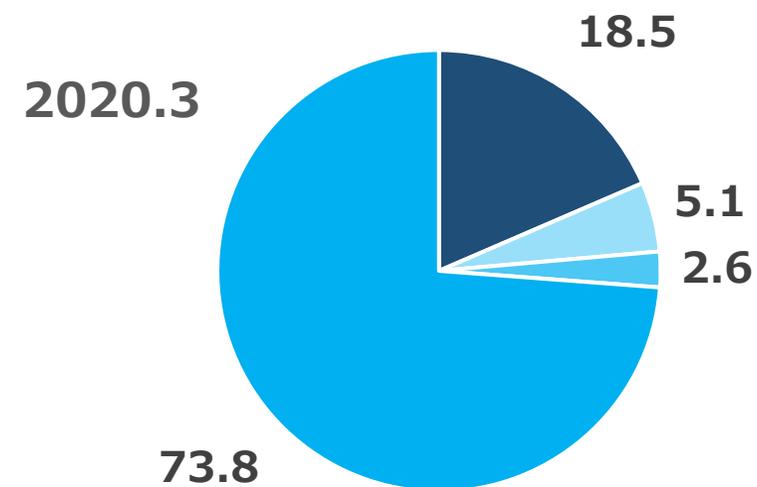
2015年3月期以来 5期ぶりに売上高過去最高を更新



# 売上高内訳

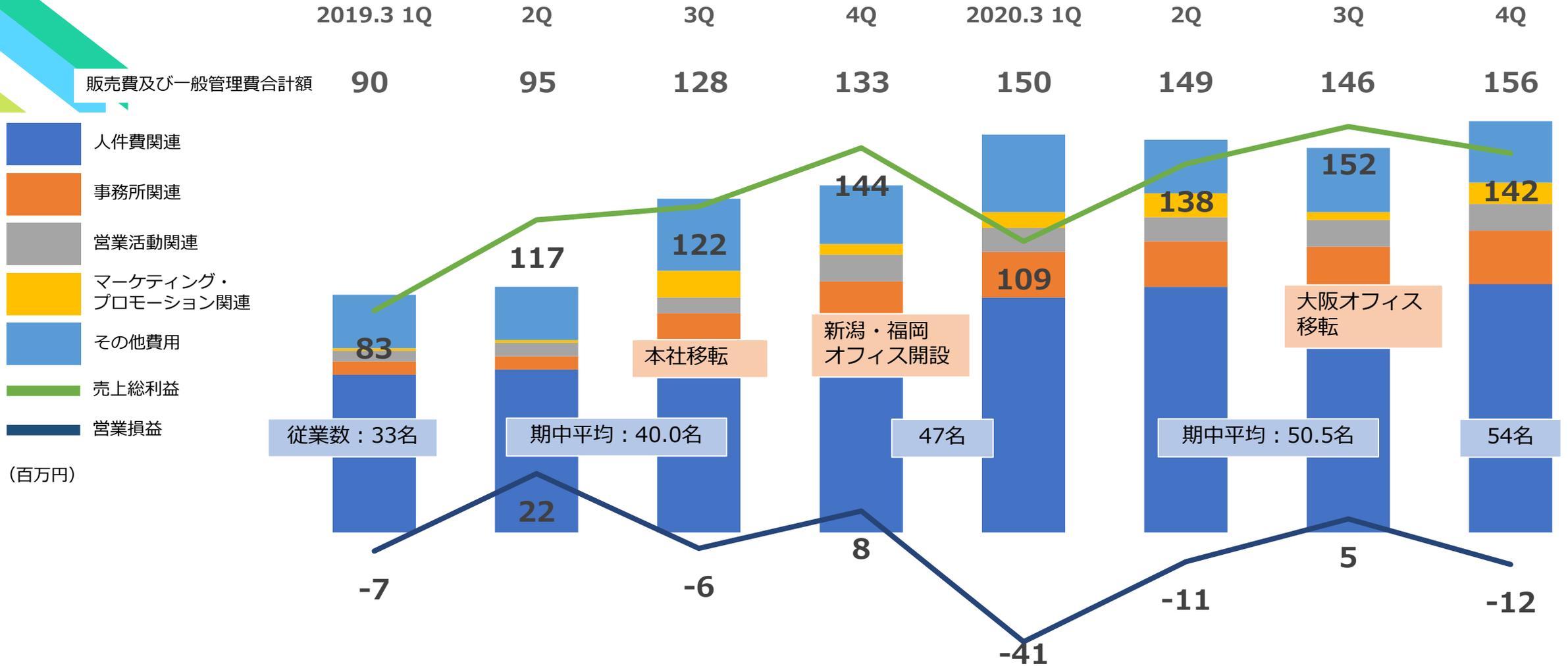
販売実績 (千円)	第19期 (2020年3月期)	第18期 (2019年3月期)	増減額
製品売上高	773,286	579,942	193,343
アンチマルウェア及び業務管理関連	587,234	444,545	142,689
業務管理サーバー	186,051	135,397	50,654
商品売上高	27,470	126,550	-99,080
Webデータベース関連	27,470	126,550	-99,080
その他売上高	53,206	29,407	23,798
Webデータベース関連	21,287	13,353	7,934
その他	31,918	16,053	15,864
保守売上高	193,545	173,490	20,055
アンチマルウェア及び業務管理関連、 業務管理サーバー	135,356	125,019	10,336
Webデータベース関連	58,189	48,470	9,718
売上高合計	1,047,508	909,391	138,117

(単位：千円)



# コスト要因&トピックス

## 第2創業 現経営体制



# 財政状態の概要 (B/S状況)

	第18期 (2019年3月31日)	第19期 (2020年3月31日)	増減率	主な内訳
(単位：千円)				
<b>資産の部</b>				
流動資産合計	941,484	812,377	▲13.7%	総資産 <b>1,164百万円</b> のうち 現預金が <b>622百万円</b> (前期末比：▲ <b>114百万円</b> )
固定資産合計	241,707	352,305	45.8%	
<b>資産合計</b>	<b>1,183,192</b>	<b>1,164,683</b>	<b>▲1.6%</b>	
<b>負債の部</b>				
流動負債合計	319,792	348,329	8.9%	短期及び長期前受金： <b>527百万円</b> (前期末比：▲ <b>1百万円</b> )
うち前受金	173,898	177,037	1.8%	
固定負債合計	412,585	422,051	2.3%	借入金： <b>50百万円</b>
うち長期前受金	355,200	350,254	▲1.4%	
負債合計	732,378	770,380	5.2%	
<b>純資産の部</b>				
純資産合計	450,814	394,302	▲12.5%	
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,183,192</b>	<b>1,164,683</b>	<b>▲1.6%</b>	
自己資本比率	37.3%	32.0%		

現預金の減少額114百万円の主要因は、デジタルグリッド株式会社への資本参加99百万円となります。

# 経営成績の概要 (P/L状況)

	第18期	第19期	増減
	(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
売上高	909,391	1,047,508	138,117
売上原価	444,698	502,867	58,169
売上総利益	464,693	544,640	79,947
販売費及び一般管理費	447,762	603,646	155,884
営業損益	16,931	▲59,005	▲75,936
営業外収益及び費用	4,532	▲4,989	-
経常損益	21,464	▲63,994	▲85,458
特別利益及び損失	▲521	92	-
税引前当期純損益	20,943	▲63,902	▲84,845
法人税等合計	▲2,209	4,686	-
当期純損益	23,153	▲68,588	▲91,741

(単位：千円)

アンチマルウェア及び業務管理  
サーバー製品の売上高が増加し、  
前期比15.2%増

5期ぶりの過去最高を更新

人員増による人件費関連増額

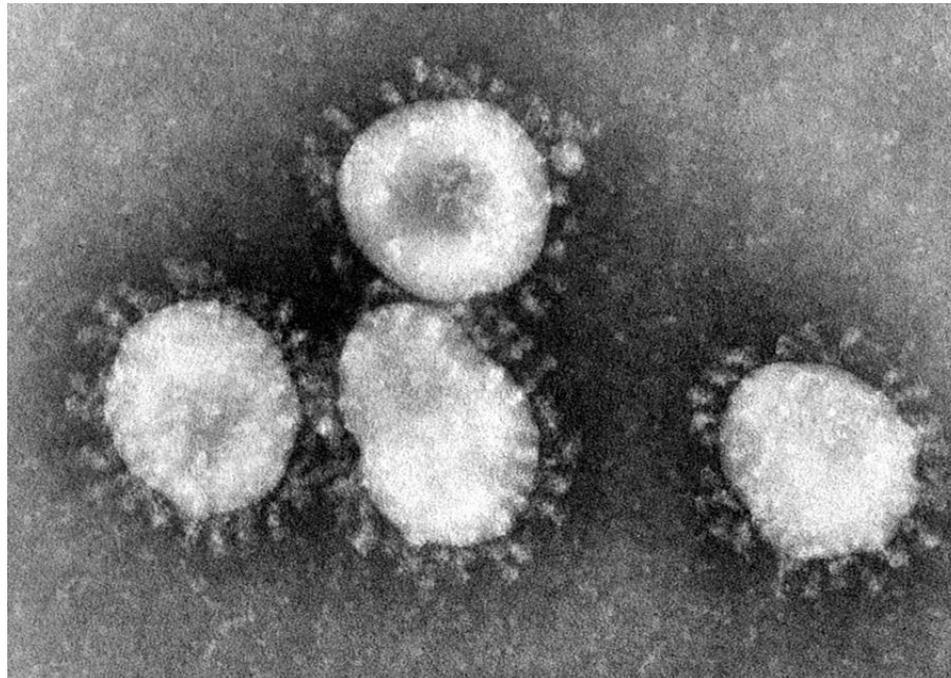
従業員数

第18期 期中平均：40.0名

第19期 期中平均：50.5名

第三者割当による新株予約権の  
発行に伴う株式交付費：  
4,614千円計上

### 3. 新型コロナウイルスの影響

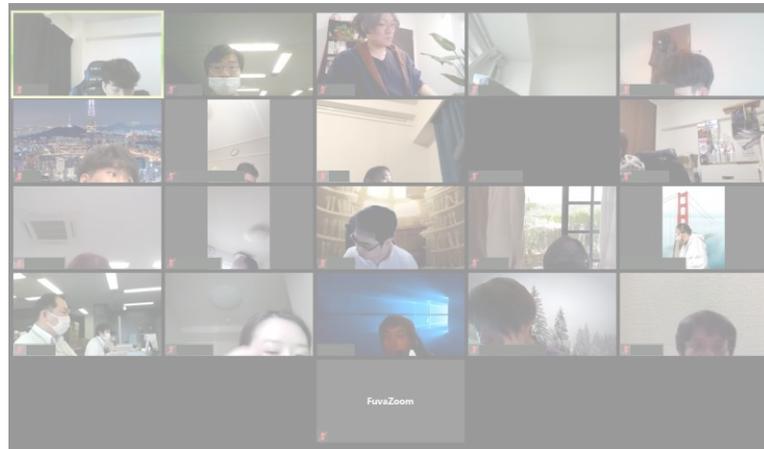


# 新型コロナウイルスの影響 社内対応

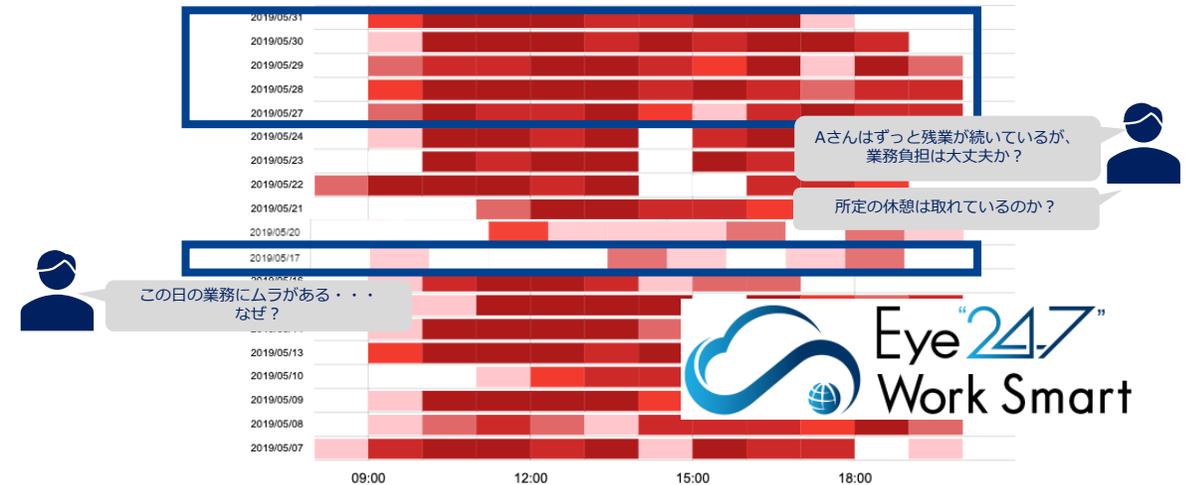
2020年2月以降、国内感染が拡大した新型コロナウイルス対策のため、従業員の安全確保に向け、在宅勤務などテレワーク制度を整備し、実施いたしました。

同年4月6日の政府による緊急事態宣言が7都府県に発せられ、外出自粛・出勤者7割削減要請後は、技術開発部門を原則テレワーク勤務とし、その他部門においても出勤者を制限し、対応しております。

営業活動においても、WEB会議システムを活用し、販売代理店・エンドユーザーに対する営業支援・製品提案を実施しております。



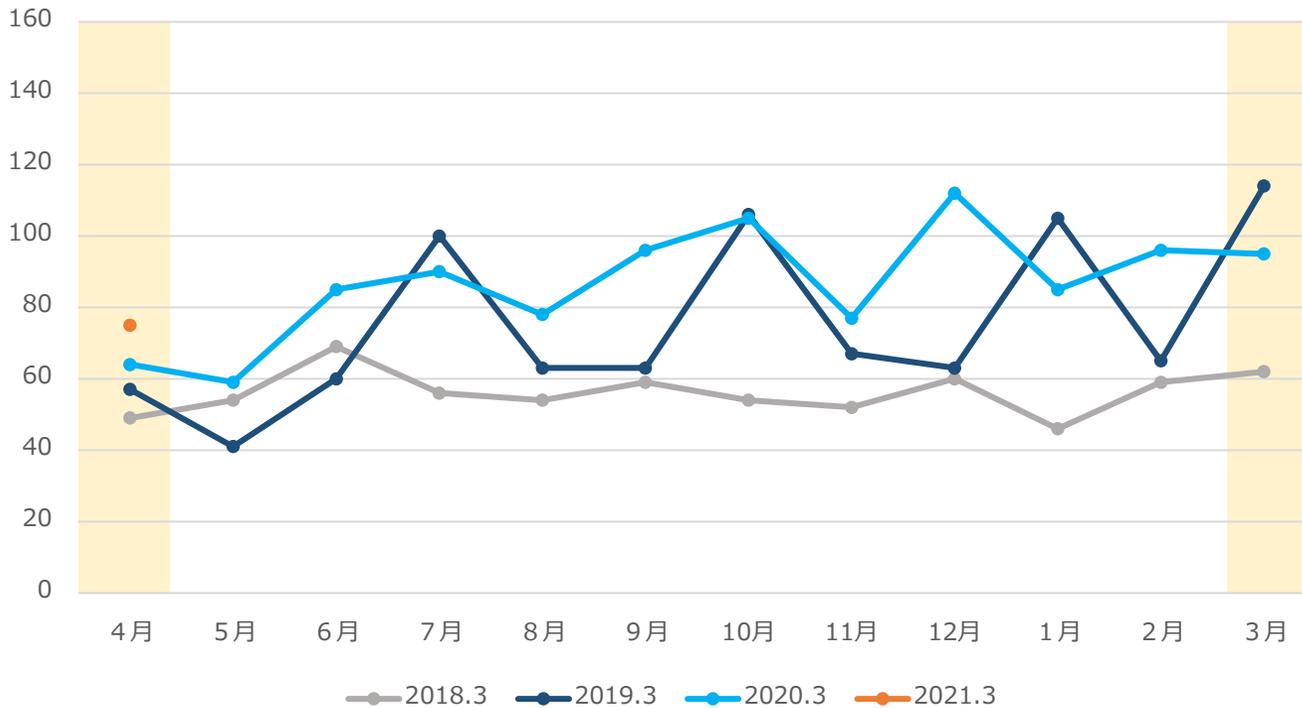
WEB会議システムの活用で、オフィス勤務者・テレワーク勤務者間のコミュニケーションの質を維持。



自社製品を活用し、テレワークで発生しがちな働き過ぎに配慮。  
自社使用から製品開発に向けた情報収集。

# 新型コロナウイルスの影響 直近業績

第17期（2018年3月期）～ 第20期（2021年3月期）月次売上高推移



単位：百万円

第19期（2020年3月期）3月度 95  
 第18期（2019年3月期）3月度 114  
 第18期比 83.3%

2020年2月以降、国内感染が拡大した新型コロナウイルスの影響について、第19期においては営業活動が困難になる地域があり、第18期実績を下回る結果となりました。

第20期（2021年3月期）4月度 75  
 第19期（2020年3月期）4月度 64  
 第19期比 117.3%

進行期第20期における新型コロナウイルスの影響については、2020年4月の売上高（速報ベース）では、第19期実績を上回る結果となりました。

# 新型コロナウイルスの影響 今後について

2020年4月7日から7都府県に発せられた緊急事態宣言は、全国47都道府県に拡大されましたが、同年5月14日以降、地域ごとに解除され、同年5月25日には、北海道・東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県 of 緊急事態宣言も解除されることとなり、全国で緊急事態宣言が解除されることとなりました。

段階的な社会経済活動の再開方針も示されましたが、国内における再拡大は引き続き懸念されます。

再度、全国的に緊急事態宣言が発せられ、新型コロナウイルスの経済影響が長期化する場合には、下記のような影響事項が想定されます。

- **当社及び販売代理店の営業活動のさらなる制限**
- **当社が仕入れるUTM製品やルーター製品及びサーバー製品の生産が滞り、品薄状態による仕入コスト増、仕入難、製造コスト増及び当社製品の出荷停止**
- **ユーザー企業の購買意欲の低減**

なお、上記は現状において想定されるものであり、状況の変化によって、他の事項が発生する可能性はございます。

## 4. 今後の成長戦略



新販路（新規代理店）を急速に拡大し、確実に売り上げにつなげる業務フローの確立

新経営陣のネットワークをフル活用。  
トップ会談で、新規代理店契約を締結

対象会社ミドルマネジメントを含め、  
販売目標・扱い商材を合意

対象会社営業員に対し、**商材勉強会**を実施

エンドユーザー（経営者）に響く営業手法・  
**営業ツール**を提供

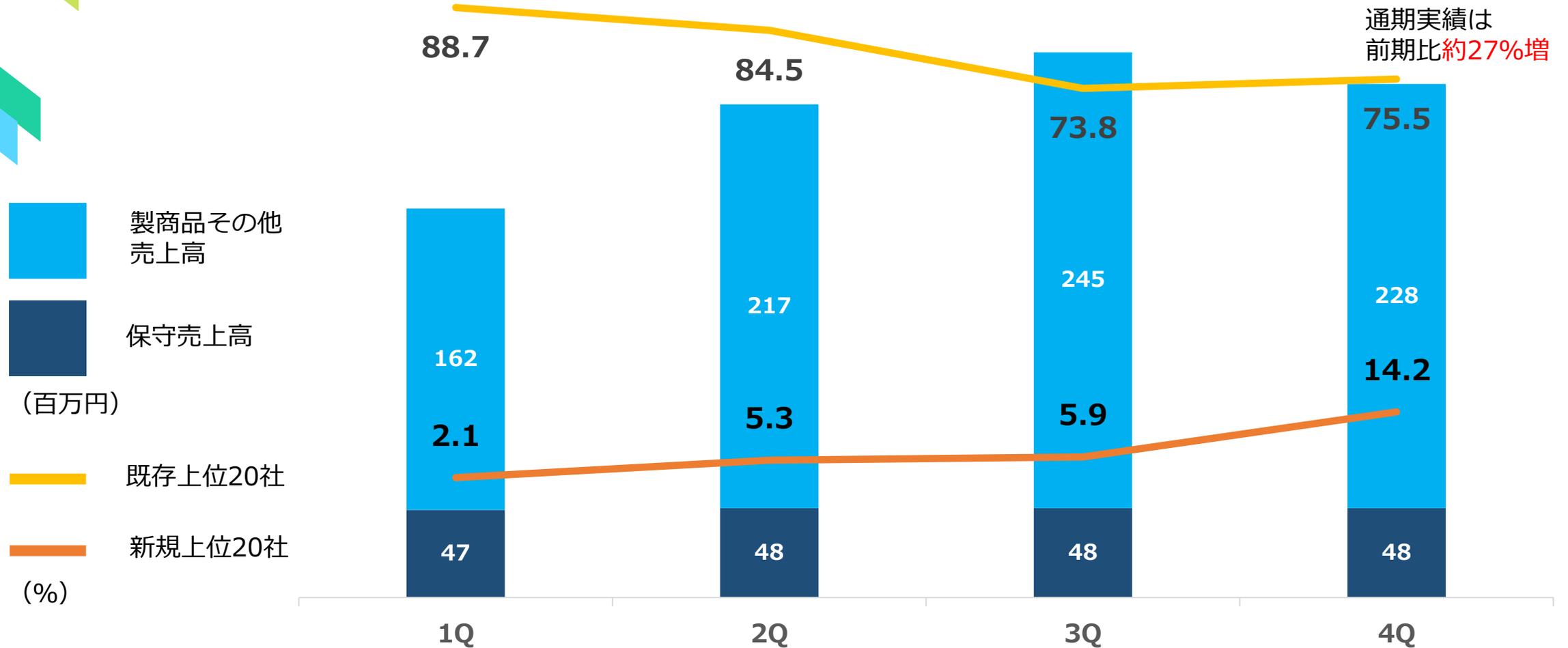
同行営業・営業目標と実績の差を密にコミュニケーション。PDCAを回す。→**売上予算達成！！**

新規代理店  
**35社獲得**

課題

課題

# 今後の成長戦略 既存・新規販売代理店



既存販売代理店と新規販売代理店の上位20社（通期実績順位）の割合は、製商品その他売上高 ■ に対する割合



## 問い合わせ件数推移

新型コロナ対策の在宅勤務など  
テレワークの「見える化」のため、問合せ急増。

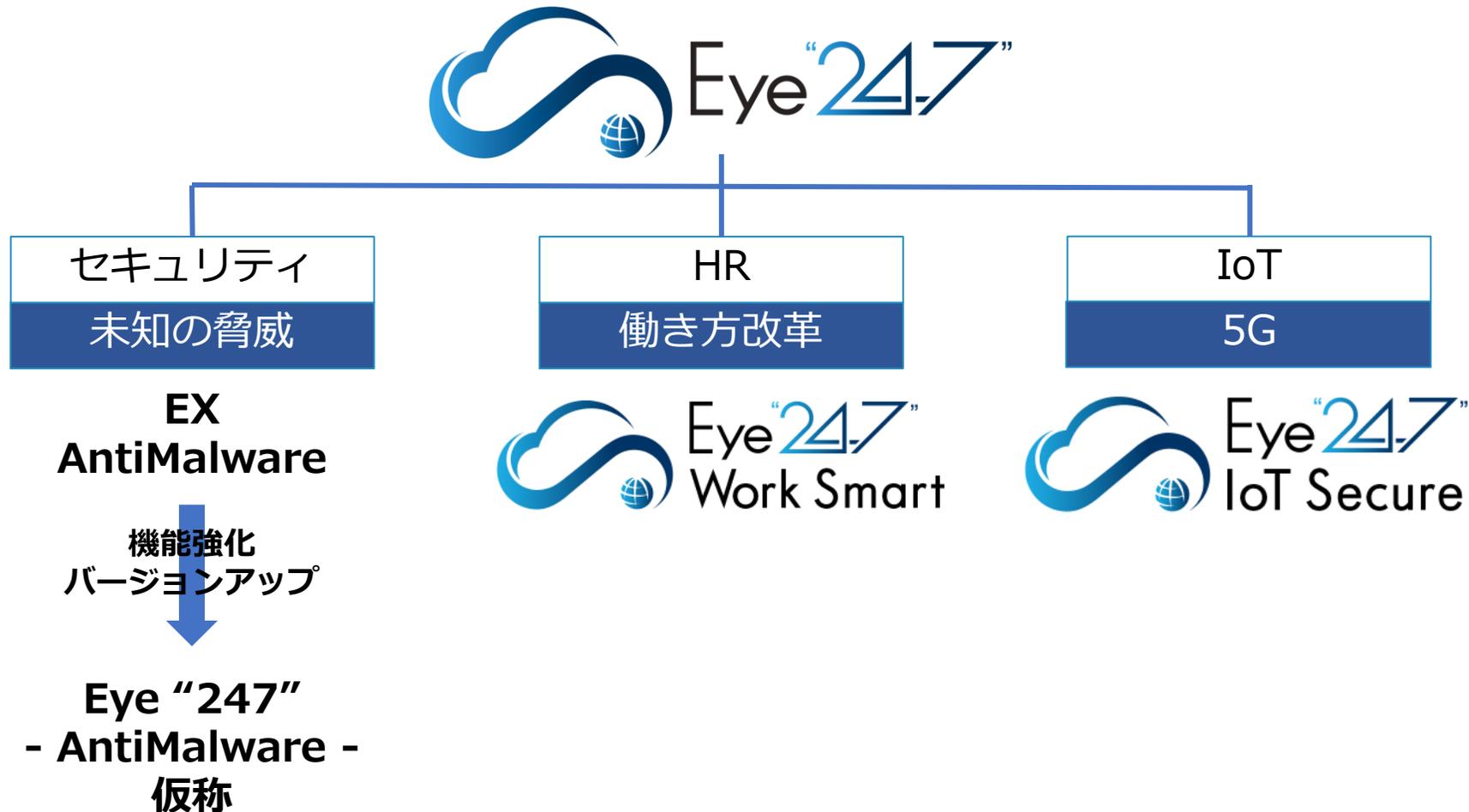
### テレワーク推進加速

新型コロナウイルス

東京オリンピック・パラリンピック（延期）



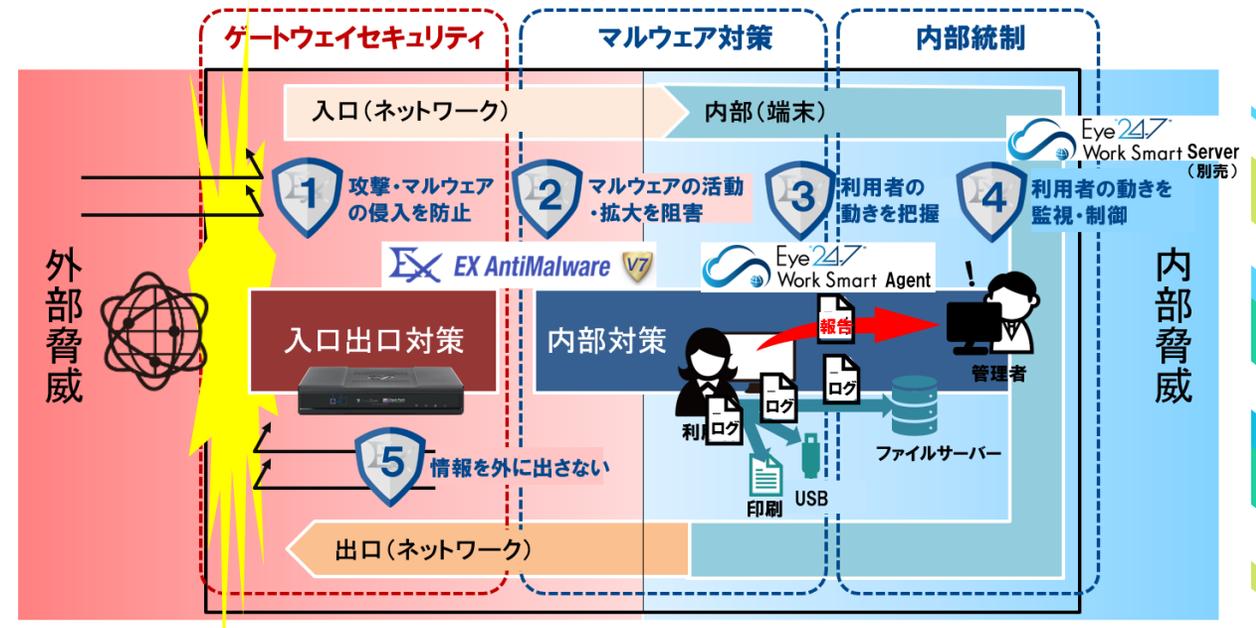
「Eye “247”」を **基幹ブランド**として  
各機能分野の製品を統括管理する**プラットフォーム**として展開



## 研究・開発の重点領域 ①

# セキュリティ

- 未知の脅威対策として、セキュリティ技術の多層化を深める
- EDR機能の実装
- 総合的なサイバー・セキュリティ対策を提供



# 日本企業に強い世界標準のセキュリティ



Fuva Brain

国内脅威データベース



ダブルエンジン



Bitdefender®

ワールドワイド  
セキュリティベンダー



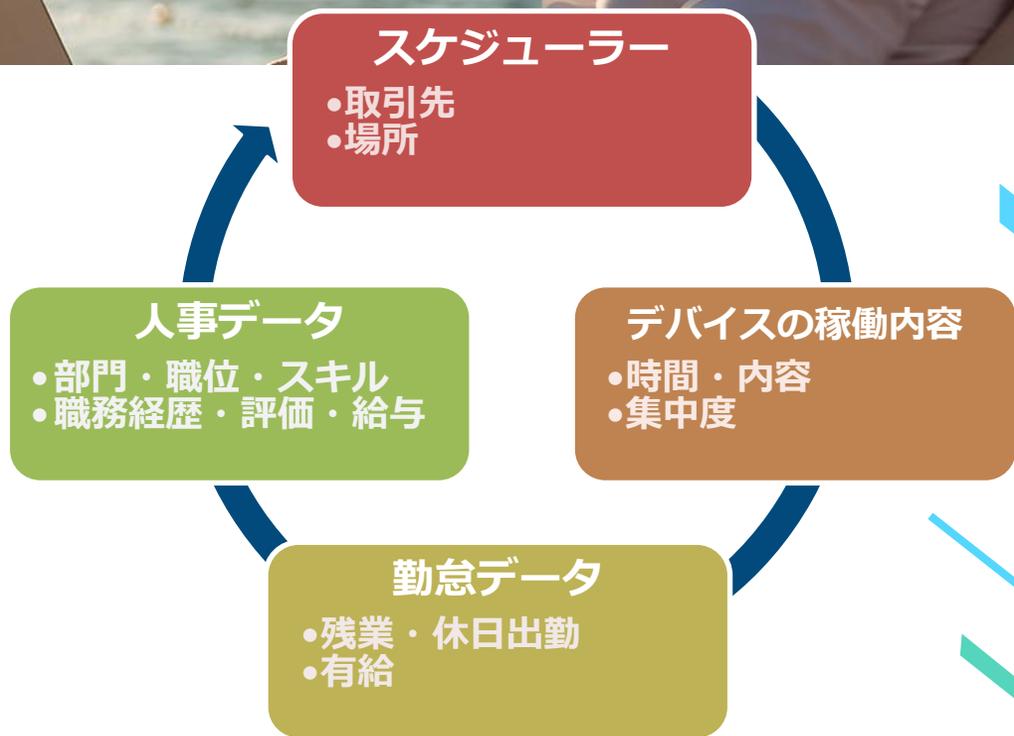
# Eye<sup>24.7</sup> Work Smart



## 研究・開発の重点領域 ②



- デバイスの使用状況とスケジューラー・勤怠・人事データと連携することで、より包括的な人材データを基にした「タレントマネジメント」を提案
- 場所と時間を問わない「新しい働き方」をサポート



自社開発

提携・連携

AI

ビックデータ

収集・集計

分析・活用

自動化

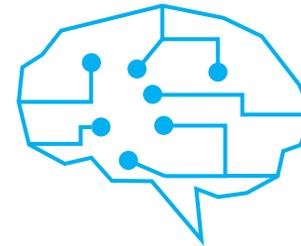
データビジネス



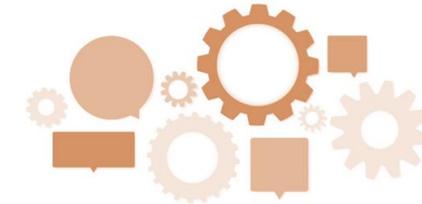
従業員の働き方を  
業務データから見える化



データ分析で提携先と連携し、  
エンドユーザーへの  
アラートやアドバイス提供



分析ノウハウを蓄積し、  
AIを利用して、  
アラート・アドバイス提供を自動化

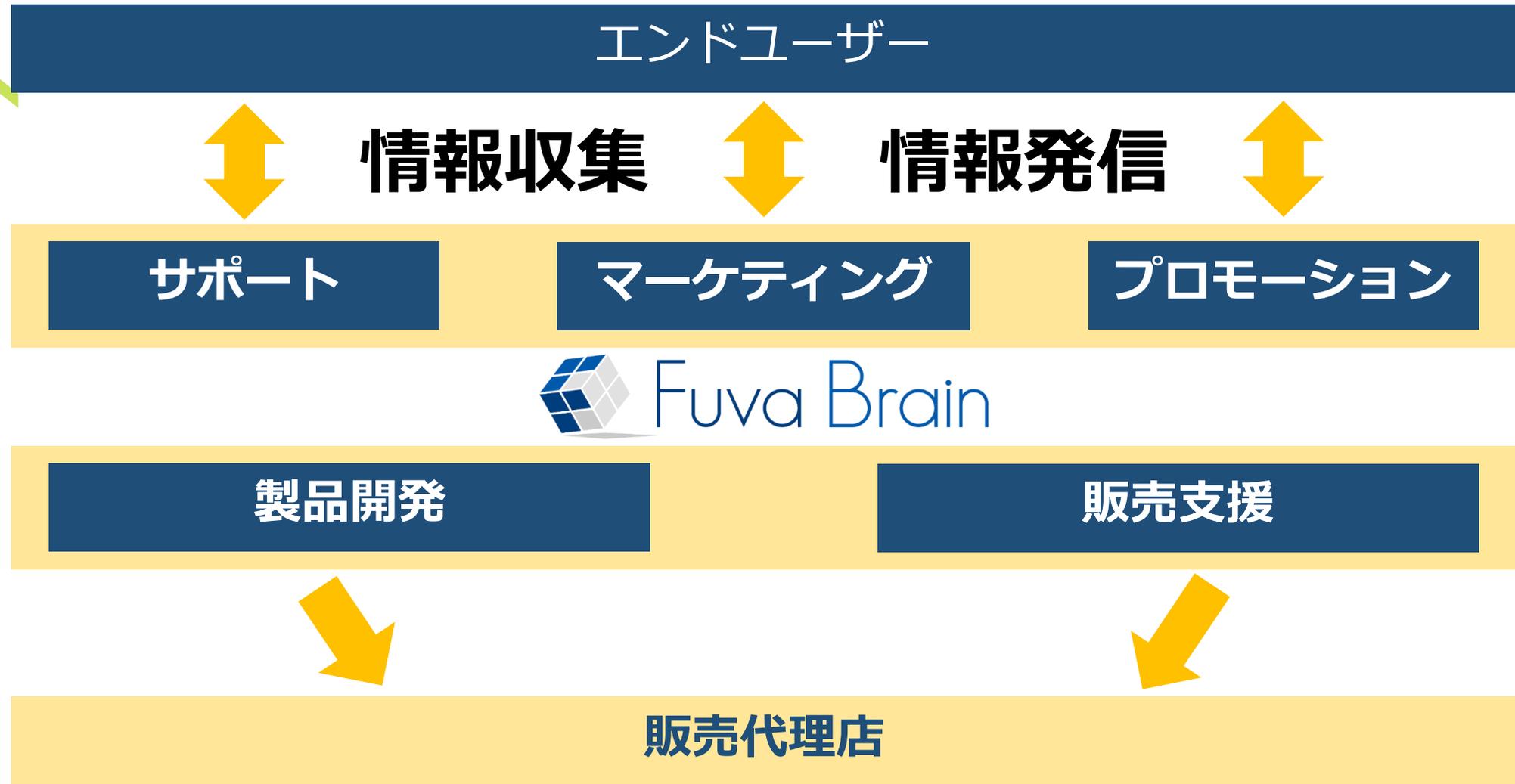


分析データを蓄積し、  
ビックデータ化  
データビジネスへ展開

第1ステージ

第2ステージ

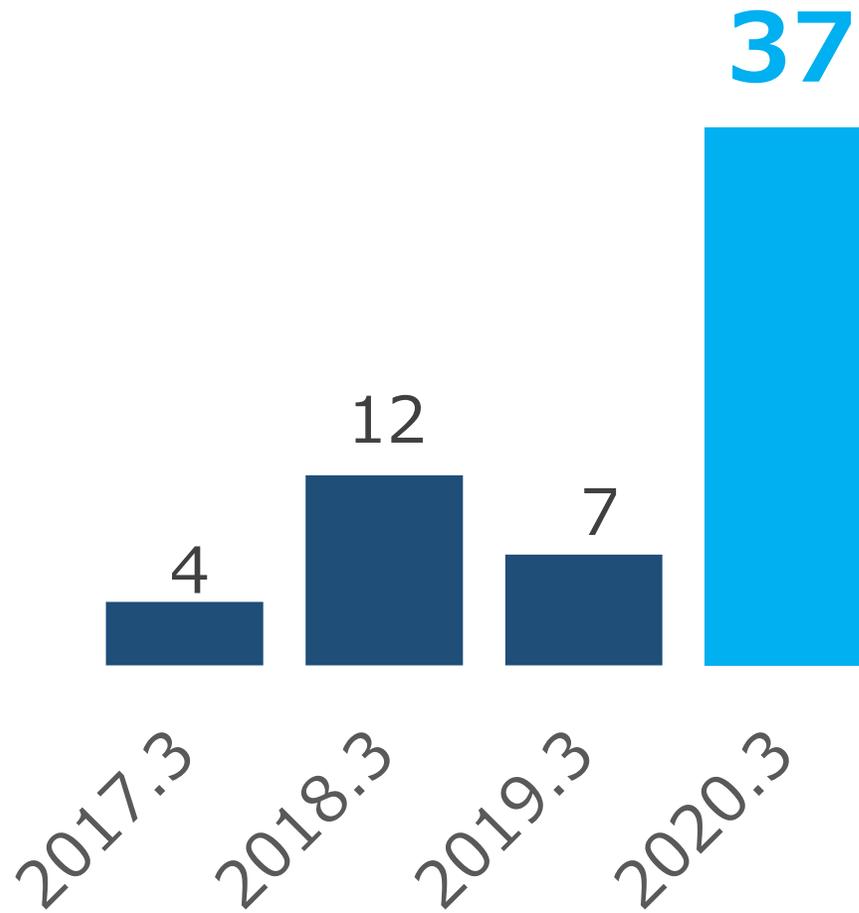
第3ステージ



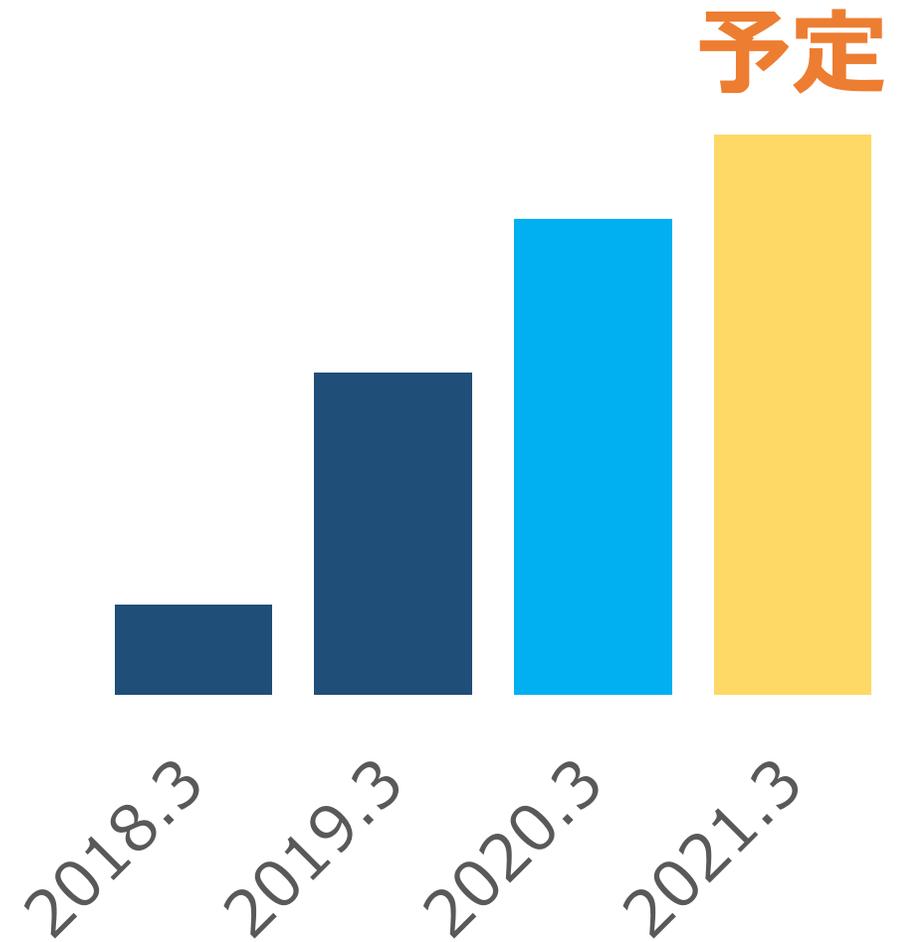
情報収集力・発信力を強化し、エンドユーザーのニーズに合った製品開発の促進、販売代理店への営業支援強化



## IR・PR件数 (公表義務以外)



## マーケティング・ プロモーション費用





## MISSION

セキュアなプラットフォームで、  
生産性とクオリティオブライフ向上を

## VISION

第4次産業革命を当社の成長エンジンに

MISSION/VISIONの実現を加速させるために、  
戦略投資・提携の追求を致します。



積極的な戦略投資・提携の追求

# 今後の成長戦略 事業領域のさらなる拡大



行使価格	<b>966円</b> （固定）
最大調達資金	<b>1,025百万円</b>
使途	研究・開発 戦略投資・提携（M & A）

調達できた資金は、中長期の成長を加速させるため、  
研究・開発、戦略投資・提携（M & A）に



会社名 株式会社フーバーブレイン（2015年12月18日東証マザーズ上場 証券コード：3927）

代表者名 代表取締役社長 輿水 英行

設立日 2001年5月8日

資本金 283,880,000円（2020年3月31日現在）

所在地 東京都千代田区紀尾井町4番1号 ニューオータニガーデンコート22階

従業員数 54名（2020年3月31日現在）

事業内容 サイバーセキュリティソリューションの提供  
テレワーク環境の構築  
生産性およびクオリティオブライフの向上支援

# ご留意事項（免責条項）、お問い合わせ先

## ご留意事項（免責条項）

- 本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- 当社の実績に影響を与える事項の詳細な記載は「第18期（2019年3月期）有価証券報告書」の「事業等のリスク」にございますので、ご参照ください。ただし、業績に影響を与える要素は「事業等のリスク」に掲載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。
- 本資料、データの無断転載はご遠慮ください。

## お問い合わせ先

株式会社フーバーブレイン 管理部 Tel. 03-5210-3061